

5

第 5 章

地域の将来像 < 地域別構想 >



1 地域区分の設定

地域別構想は、全体構想を基本として市域を地域ごとに区分し、それぞれの地域づくりの基本的な方向を示すものです。本市の地勢、交通網、沿革等を考慮し、市域を5つに分けた「エリア」を単位として、地域別構想を策定します。

また、地域ごとの将来像図に示している幹線道路や公園の整備など都市計画事業等の実施に当たっては、地域住民が中心となって掘り起こした地域資源の保護・保存・活用に配慮するなど、特色ある地域づくりを目指します。

■地域区分の設定

地域ブロック	人口		面積	
	千人	%	km ²	%
城央エリア	175.4	33.1	31	5.8
南西エリア	104.0	19.6	41	7.7
南東エリア	109.5	20.6	60	11.2
北東エリア	80.8	15.2	131	24.5
北西エリア	60.8	11.5	271	50.8
市全域	530.5	100.0	534	100.0

注1：人口は令和2年（2020年）国勢調査

注2：校区は令和3年（2021年）3月現在



第5章 地域の将来像
〈地域別構想〉

2

城央エリア

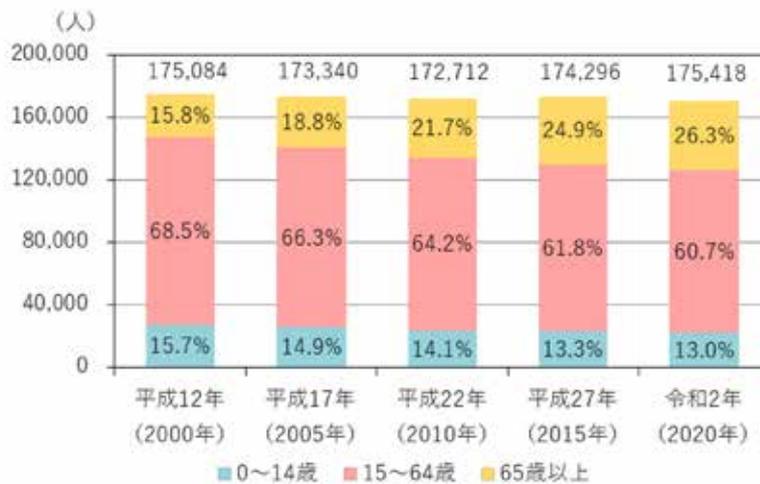
(1) 地域づくりの目標

地域の概況

- 城央エリアは、本市の中心に位置する地域であり、ほとんどが市街地地域となっています。地域北側では、JR野里駅周辺を中心に都心部から連なる市街地が形成されています。
- 姫路城の旧城下町を中心に古くから商業地が発展し、社寺等の歴史文化の香りを残した播磨地域の中心商業地として育ってきました。
- 現在、姫路駅周辺地区において進めてきた鉄道高架事業等が完了し、高次都市機能が集積しています。また、大手前通りの再整備を契機として、公民連携によるウォークブルな環境づくりが進められています。



■人口及び人口構成の推移



資料：総務省「国勢調査」



地域の特徴

- ▶ 戦災復興土地区画整理事業の実施により、曲折が多く狭い旧城下町時代の道路網の改修が行われ、国道線（国道2号）や大手前通りなど今日にいたる市街地の骨格が形成されました。
- ▶ JR 姫路駅の南部では、駅南土地区画整理事業に続き、中部土地区画整理事業により、本市の骨格となる駅南大路が開通したほか、地域内各所での組合施行の土地区画整理事業により、機能的な市街地の整備が進められてきました。
- ▶ 世界遺産姫路城のバッファゾーンには、当時の街路網や構築物とともに寺社、町家等の歴史的建築物が多く残っています。

地域づくりの目標

世界遺産姫路城を生かした国際観光都市づくり

- 世界遺産姫路城の保全と継承に力を注ぐとともに、本エリアに集積する歴史的・文化的資源の活用による都心の魅力を高め、国際観光都市の構築を目指します。

播磨圏域の連携中枢都市として魅力と活力ある拠点づくり

- 高度で多様な都市機能の集積と基盤整備を進め、播磨圏域の連携中枢都市にふさわしい魅力と活力ある拠点の形成を目指します。

居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり

- 質の高い公共空間や地域特性を生かした回遊性の向上により、歩いて楽しいまちなかの形成を目指します。
- 市民一人ひとりのライフスタイルに応じた多様な住まい方が選択できる生活空間の形成を目指します。

快適で安心して暮らせる住宅市街地づくり

- 歩行者のための安全な道路空間の確保や身近な自然とふれあえる緑豊かな都市空間の創出など、都市施設が整い快適で安心して暮らせる住宅市街地の形成を目指します。

拠点

地域交流拠点	中心拠点	姫路駅周辺 ▶ 播磨圏域の連携中枢都市にふさわしい高次都市機能や広域交流における交通結節機能の充実を図ります。
	副次拠点	JR 野里駅周辺 ▶ 広域交流及び地域間交流における交通結節機能の向上や中心拠点を補完する都市機能、市民活動の場を備えた拠点の形成を図ります。
	生活拠点	JR 手柄山平和公園駅周辺 ▶ 地域の玄関口として、交通結節機能の向上を図るとともに、日常生活を支える都市機能の維持・向上を図ります。

高次都市機能ゾーン ▶ おおむね世界遺産姫路城及び内環状道路に囲まれた区域

- 姫路駅北地区は、主に商業核としての性格を持つ拠点として位置付け、商業機能の充実に加え、ウォーカブルな「人」中心の空間へ転換するための取組を段階的に推進します。
- 姫路駅南地区は、主に業務核としての性格を持つ拠点として位置付け、駅北地区と一体的な商業業務地を形成するとともに、駅南大路や運河公園等で魅力ある都市景観の形成を図ります。
- 姫路駅周辺の再開発や手柄山中央公園の再整備等により、行政、商業・業務、医療、教育、文化・芸術等の高次都市機能の集積、インバウンドの受け入れや周遊観光の拠点整備等を促進します。
- 旧中央卸売市場跡地において、新市立高等学校の校舎の建設、移転に向けた計画や整備を進めます。

(2) 地域づくりの方針



土地利用

商業系

姫路駅周辺の内環状道路に囲まれた区域、駅南大路及びJR野里駅周辺

- 拠点商業業務地として位置づけます。

拠点商業業務地の周辺及びその他の鉄道駅周辺、主要幹線道路沿線

- 商業業務地として位置づけます。

姫路駅周辺

- 姫路城と土地の高度利用との健全な調和を図るなど、城下町の風情を生かした魅力的な市街地形成に配慮します。
- 魅力ある個店づくりや特色ある商業・業務街区の形成を進め、地域住民や来街者の回遊の拡大を促進します。

国道線（国道2号）沿道の商業業務地

- 広域交通の利便性を生かした沿道施設等を誘導します。

その他

- 姫路城からJR野里駅に至る城東線や野里街道沿道を、歩行者を中心とした沿道型の商業業務地として位置づけます。
- 充実したオープンスペースや良質なオフィス、都市型住宅、子育て施設の誘導等を図ります。

工業系

城東町、東郷町、千代田町、西延末、野里等の既存の内陸工業地

- 職住近接型の工業地としての土地利用を図ります。

住宅系

東姫路駅北地区の複合住宅地

- 生活利便性の向上および軽工業等と調和のとれた住宅地の形成を図ります。

一般住宅地及び専用住宅地

- 適切な道路等の整備及び土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地又は低層住宅地の形成を図ります。

八丈岩山等の麓に位置する低層住宅地

- ゆとりある快適な住環境の維持・保全を図ります。

市街化調整区域に点在する住宅団地

- 地区計画制度の活用により、現在の住環境の維持・保全を図ります。

保全系

姫山、八丈岩山、増位山、広嶺山等の丘陵

- 良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。

- 豊かな自然や増位山随願寺、広峯神社等の歴史文化遺産に触れることができる拠点として、優れた歴史的風土を損なわない範囲で利用環境の向上を図ります。



交通

公共交通

姫路駅周辺

- 公共交通相互の乗り継ぎ利便性向上をより一層推進するとともに、過度な自動車の流入を抑制し、高度なモビリティサービスなど多様な交通手段による快適な交通環境づくりを目指します。

JR 手柄山平和公園駅

- 駅前広場やアクセス道路を整備します。

山陽手柄駅・亀山駅

- 駅舎の近代化、アクセス道路の改善、駅前広場の整備等により、利便性や周辺の利用環境の向上を図ります。



手柄山平和公園駅整備イメージ

バス路線

- 路線バス停留所までの距離が遠い住宅地が散在する一方で、郊外部と姫路駅を結ぶ便数が潤沢であることから、新たな運行ルートを設定することで路線を平準化し、利用者増加を目指した再編を行います。

道路

幹線道路

- 内環状道路、中環状道路（国道2号線、城北線、大日線、中央南北幹線）及び外環状道路（白国線、夢前川左岸線など）等を骨格とした幹線道路網の形成を図ります。
- JR姫路駅を中心とする南北交通の円滑化と南北市街地の一体化を図るため、中環状道路、内環状道路の整備を推進します。

豊かな公共空間を生み出す道路空間の活用等

- 歩行者利便増進道路制度等を活用し、大手前通りをはじめ、周辺道路においても賑わい創出や地域活性化を図ります。

駐車対策

- 大手前通りのトランジットモール化、徒歩と公共交通を中心としたまちづくりを踏まえ、都心部における駐車場の立地の適正化を図ります。

自転車利用環境

- 環境負荷の低減等につながる自転車の安全・安心・快適な利用を促進するため、利用者が多いバス停留所において駐輪場の整備を進めるとともに、国道線、十二所前線、駅南大路、下寺町線、大日線等における自転車利用環境の向上を図ります。



自転車レーン（延末線）



水と緑

公園・緑地

- 姫路公園については、「姫路城保存活用計画」に基づき、世界遺産姫路城を核とした歴史的景観と水と緑が調和した市中心部の公共空間にふさわしい利用環境の維持・向上を図ります。
- 手柄山平和公園については、都心近郊にある緑とスポーツ及びレクリエーションの拠点として、文化センターの移転等に伴う再整備を推進します。



市街地整備

土地区画整理事業

- 阿保地区では、土地区画整理事業による適切な土地利用の誘導を通じて職住近接型の複合住宅地の形成を図るとともに、子育て世帯の居住者の増加を図ります。
- 英賀保駅周辺地区では、土地区画整理事業により都市施設が整った低層住宅地の形成を図ります。
- 土地区画整理事業の進捗にあわせて、身近に利用できる都市公園の整備および下水道未整備区域の解消を進めます。

密集市街地

- 姫路城南地区、本町白鷺町周辺、野里街道周辺及び柿山伏・龍野町・西新町周辺においては、地域住民との連携により建築物の建替え、耐震・不燃化を促進するなど、安全な市街地環境への改善を図ります。

その他

- 市街地における面的な不燃化、難燃化を促進するため、防火地域・準防火地域制度の活用を図ります。



生活環境

下水道

- 合流式下水道等の老朽化した下水道施設の計画的な改築更新を進めます。
- 重点対策地区において、局所的な浸水解消に寄与する雨水対策施設の整備を進めます。



防災

広域防災拠点

- 手柄山平和公園については、大規模災害時において救援・救護、復旧活動等の拠点となる広域防災拠点として、被災地外からの人員・物資を集結・搬送するための設備や緊急情報の通信施設等の整備を図るとともに、周辺の緊急輸送道路の無電柱化を図ります。

防災機能の強化

- 防災中枢拠点として姫路市防災センターと市役所を、地域防災拠点として中央支所を、オープンスペースとして城北公園、姫路公園、安室中学校、高丘中学校、西庄公園、運河公園を配置するとともに、小学校区及び義務教育学校区を基本とした生活圏においてコミュニティ防災拠点を配置し、これらの施設の耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。

河川

- 市川、船場川、大井川、水尾川の計画的な改修等や適切な維持管理を促進します。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域等

- 指定の状況を踏まえた土地利用を誘導します。



景観

世界遺産姫路城

- 建造物・遺構等の復元を図るとともに、城を核とした水と緑のうまいある美しい景観の形成を図ります。

世界遺産姫路城を中心とする姫路城周辺地区

- 歴史的建築物の保全と活用を図るとともに、城と調和した風格ある景観の形成と城に配慮した眺望景観の保全を図ります。

野里街道、西国街道沿いに残る歴史的町並み

- 歴史的町並み景観形成ゾーンとして、城下町の歴史的景観の保全・継承を図ります。



野里街道

景観形成上重要な建造物等

- 保護制度等を活用することで保存・修復し、まちづくりの中で活用を図ります。

都市景観形成地区である駅南大路地区や姫路駅北駅前広場地区を中心とした地区

- 姫路の玄関口にふさわしい緑豊かでゆとりと潤いのある都市空間の形成を図ります。

増位山や広嶺山、景福寺山等

- 豊かな水と緑が織りなす自然景観を保全するとともに、市街地を望む眺望点や身近に自然とふれあえる場として活用します。



土地 利用		都 市 施 設	
拠点商業業務地	専用住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路
商業業務地	農地・集落地	幹線道路（環状）	自転車レーン等整備路線
工業地	山地・丘陵	幹線道路（放射）	J R 線
複合住宅地	高次都市機能ゾーン	幹線道路（その他）	山陽電鉄
一般住宅地			主要公園・緑地・墓園
			一級・二級河川
			水辺

■ 城央エリアの将来像

3 南西エリア

(1) 地域づくりの目標

地域の概況

- 南西エリアは、昭和初期に建設された製鉄所や化学、マッチ工場等の立地とともに発展してきた街で、海側の臨海産業地域と内陸側の市街地地域に大きく区分されます。地域西側の中央部には農業振興地域が指定され、豊かな農地が広がっています。
- 網干地区は、播磨国風土記にも登場する長い歴史を持つまちで、中世から近世にかけては、揖保川、瀬戸内海という恵まれた水運による物流の拠点として栄えてきました。
- 広畑・大津地区では製鉄所の操業に伴い市街化が進み、土地区画整理事業と連動した住宅地等が形成され、道路等の都市施設が整った市街地が形成されています。



資料：総務省「国勢調査」

💡 地域の特徴

- ▶ 明治から昭和初期にかけて龍野電気鉄道(播州水力電気鉄道)が網干港駅を起点に地域の南北を通っていましたが、現在は、地域を東西に結ぶ山陽電鉄網干線やJR山陽本線が通っています。
- ▶ 揖保川やその河口に広がる海辺の景観、朝日山や京見山等の豊かな自然環境に加え、伝統的な町家が残る興浜界隈の町並みや大覚寺、異人館等の文化財、「津の宮の提灯祭り」で知られる魚吹八幡神社など、これらの自然環境や歴史文化遺産は地域の魅力となっています。

地域づくりの目標

利便性の高い駅前拠点づくり

- 山陽網干駅・広畑駅やJR網干駅・はりま勝原駅における駅周辺開発等を促進し、商業・業務施設と住宅や各種都市機能施設が調和した利便性の高い駅前拠点の形成を目指します。

循環型社会を先導する産業空間づくり

- 地域の発展を支えてきた既存の産業基盤・物流基盤を最大限に活用しながら、循環型社会の構築を先導する産業の振興を目指します。

海辺のまちなみや田園環境と調和した生活環境づくり

- 水運による物流の拠点であった歴史を伝えるまちなみ、津の宮の提灯祭りなど地域固有の伝統、文化を育みながら、市街地内に残る田園環境と調和した生活環境の創出を目指します。

快適で安心して暮らせる住宅市街地づくり

- 歩行者のための安全な道路空間の確保や身近な自然とふれあえる緑豊かな都市空間の創出など、都市施設が整い快適で安心して暮らせる住宅市街地の形成を目指します。

拠点

地域交流拠点	副次拠点	山陽網干駅周辺 <ul style="list-style-type: none"> ● 広域交流及び地域間交流における交通結節機能の向上や中心拠点を補完する都市機能の充実を図るとともに、歴史的建造物を生かした魅力的な都市空間の創出を図ります。
	生活拠点	JR網干駅・はりま勝原駅周辺、山陽広畑駅周辺 <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の玄関口として、交通結節機能の向上を図るとともに、日常生活を支える都市機能の維持・向上を図ります。 ● JR網干駅周辺地区においては、駅北側における土地区画整理事業を推進し、市西部の玄関口として、太子町と連携した交通結節機能の強化と商業機能等の充実を図ります。

(2) 地域づくりの方針



土地利用

商業系

山陽網干駅周辺

- 拠点商業業務地として位置づけます。

JR網干駅・はりま勝原駅周辺、山陽夢前川駅・広畑駅・天満駅・平松駅周辺

- 商業業務地として位置づけます。

工業系

既存の内陸工業地

- 引き続き工業地としての土地利用を図ります。

臨海部の姫路港内

- 日本有数の工業系企業が集積していることから温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を促進するとともに、都市活力の源となる工業地の形成を図ります。
- 周辺の住環境への影響や道路交通への影響等について、生活環境影響調査



臨海部の工業地帯

を実施し、支障がないと認められる廃棄物処理施設等の土地利用を図ります。

姫路港網干沖地区等の埋立地

- 新規企業立地等のための産業用地として位置づけます。

住宅系

網干区福井等の複合住宅地

- 地場産業や軽工業等と調和のとれた住宅地の形成を図ります。

山陽電鉄南側の複合住宅地

- 適切な土地利用の誘導を通じて良好な市街地の形成を図ります。

一般住宅地及び専用住宅地

- 適切な道路等の整備及び土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地又は低層住宅地の形成を図ります。

京見山等の麓に位置する低層住宅地

- ゆとりある快適な住環境の維持・保全を図ります。

保全系

朝日山等の市街地に近接する丘陵

- 良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図るため、区域区分や風致地区に関する都市計画の見直しを検討します。

地域西側に広がる農地・集落地

- 農業を振興する地域として、優良な農地を保全するとともに、周辺環境との調和に配慮した土地利用を図ります。



交通

公共交通

J R 網干駅

- 土地区画整理事業にあわせて駅北側で駅前広場の整備等を推進し、公共交通への乗換えや乗り継ぎの利便性を高めます。

山陽広畑駅・天満駅・平松駅

- 駅舎の近代化、アクセス道路の改善、駅前広場の整備等により、利便性や周辺の利用環境の向上を図ります。

山陽電鉄網干線

- 現況のサービス水準の維持・向上を図るため、交通事業者と沿線住民とともに活性化に努めます。

バス路線

- J R 山陽本線と山陽電鉄網干線が並走していることから、鉄道と路線バスの役割を明確に区別し、最寄りの鉄道駅や商業施設等への移動手段として運行便数を充実させることで、地域住民の利便性の向上を図ります。

道路

幹線道路

- 播磨地域におけるものづくり力の強化や防災・減災機能の強化、広域交流の円滑化を図るため、播磨臨海地域道路の早期事業化に向け取り組むとともに臨港道路の整備にあわせた道路網の形成を図ります。
- 環状放射道路を構成する夢前川右岸線、国道2号線（姫路バイパス）、海岸線（国道250号）及び龍野線、広畑幹線、宮田線等を骨格とした幹線道路網の形成を図ります。

自転車利用環境

- 環境負荷の低減等につながる自転車の安全・安心・快適な利用を促進するため、夢前川右岸線、山崎線、宮田線、中門線、天満線等における自転車利用環境の向上を図ります。



水と緑

公園・緑地

- 地域住民の身近な憩いの場、災害時における避難場所等を確保するため、まとまった規模を持つ公園の計画的な整備を図ります。



市街地整備

密集市街地

- 広畑区本町周辺においては、広畑幹線の整備にあわせ地域住民との連携により建築物の建替え、耐震・不燃化を促進するなど、安全な市街地環境への改善を図ります。



生活環境

下水道

- 網干区福井地区等の老朽化した下水道施設の計画的な改築更新を進めます。
- 重点対策地区において、局所的な浸水解消に寄与する雨水対策施設の整備を進めます。



防災

防災機能の強化

- 地域防災拠点として網干支所と広畑支所を、オープンスペースとして大津団地第2公園、朝日中学校、網干南公園、垣内公園、広畑中学校を配置するとともに、小学校区及び義務教育学校区を基本とした生活圏においてコミュニティ防災拠点を配置し、これらの施設の耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。

避難対象地区

- 南海トラフ地震の発生に伴う津波に備えるため、地域住民等の参画により津波避難計画を策定し、避難場所や避難路の確保を図ります。

河川

- 揖保川水系や夢前川については、各河川管理者が主体となって行う流域治水を推進します。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域等

- 指定の状況を踏まえた土地利用を誘導します。



景観

浜街道が通る興浜界隈の歴史的町並み

- 歴史的町並み景観形成ゾーンとして、港町の歴史的景観の保全・継承を図ります。

景観形成上重要な建造物等

- 保護制度等を活用することで保存・修復し、まちづくりの中で活用を図ります。

遊休不動産となっている歴史的建造物等

- リノベーションによる活用等について、地域と連携したまちづくりを進めることにより、賑わいの創出や地域の活性化を図ります。



網干地区歴史的町並み

夢前川

- 桜並木の保全や水辺環境の適切な維持管理により、魅力ある都市景観の形成を図ります。



地区計画による緑豊かなまちづくり（あやみの）



蓮根畑



旧網干銀行



朝日谷の「火揚げ」



凡		例	
土地 利用		都 市 施 設	
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	自転車レーン等整備路線
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	J R 線
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	山陽電鉄
			主要公園・緑地・墓園
			一級・二級河川
			水辺

注：播磨臨海地域道路のルートについては、令和5年（2023年）10月に公表した都市計画素案であり、確定したものではありません。

■南西エリアの将来像

第5編 地域の将来像
〈地域別構想〉

4

南東エリア

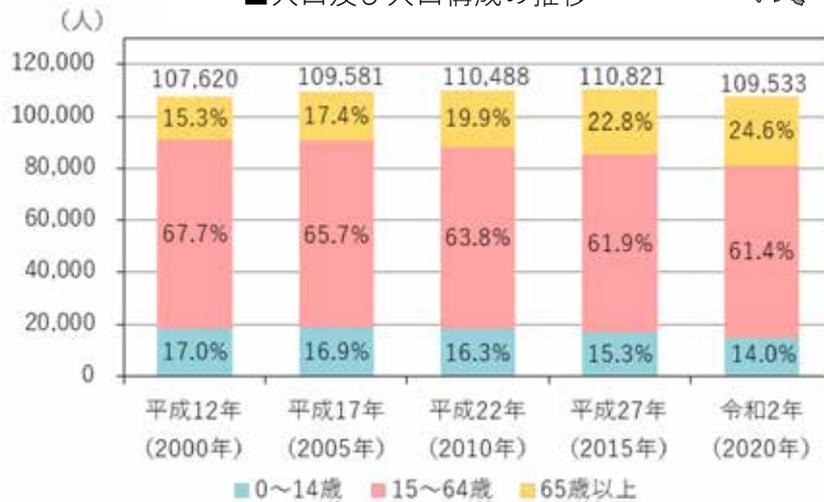
(1) 地域づくりの目標

地域の概況

- 南東エリアは、陸地部と島しょ部からなる地域です。陸地部は、東西に設けられた緩衝帯により、海側の臨海産業地域と内陸側の市街地地域に大きく区分され、大塩・的形地区には、自然海岸が残っています。
- 市街地地域では、浜街道沿いに住・商・工が近接した職住複合の市街地が形成され、その周辺部では、おおむね土地区画整理事業と連動した住宅地が形成されてきました。
- 姫路港飾磨地区は、港湾施設の整備により物流機能の強化や旅客船ターミナルが整備されており、「海の玄関口」としての役割を果たしています。



■人口及び人口構成の推移



資料：総務省「国勢調査」



地域の特徴

- ▶ 野田川の河口に開けた旧飾磨港（姫路港飾磨地区）は、かつて飾磨津と呼ばれ、江戸時代は姫路城下の外港として重要な位置を占めており、明治初期の産業道路であった銀の馬車道の発着点でもありました。
- ▶ 灘地区は早くから地場産業が発展した地域でもあり、江戸中期の和釘の製造が始まりとされています。現在でも鎖・ナット製造等の地場産業が行われる職住近接の複合住宅地が形成され、臨海部では塩田廃止後の土地区画整理事業により工業団地が造成されています。
- ▶ 松原八幡神社の秋の例大祭は「灘のけんか祭」として海外にも名を知られ、浜の宮天満宮の「台場差し」や恵美酒宮天満神社の「台場練り」、大塩天満宮の「獅子舞」等を含め、本地域は伝統に育まれたコミュニティが連綿と引き継がれています。
- ▶ 島しょ部の家島諸島は、大小 40 余りの島々で構成されており、採石・海運業、水産業を基幹産業として発達してきました。水産物の水揚量は県内でも有数のシェアを占めています。

地域づくりの目標

高規格な幹線道路網の整備を契機とした交通ネットワークづくり

- 播磨臨海地域道路網、海岸線（国道 250 号）等の高規格な幹線道路を中心とした物流の効率化、災害時の緊急輸送や広域緊急医療の充実等に資する交通ネットワークの形成を目指します。

海の玄関口にふさわしい生活と産業が交流する拠点づくり

- 本市の海の玄関口にふさわしい都市機能や流通機能等を備えた地域交流拠点及び親港拠点を形成するとともに、これらの拠点と地域内外の連携を強化する骨格道路網の形成を目指します。

歴史的な魅力や伝統・文化を生かした住宅市街地づくり

- 古くからの港まちや住・商・工のバランスがとれたまちとしての側面を活かしながら、都市施設が整い快適で安心して暮らせる住宅市街地の形成を目指します。
- 地場産業による職住近接の生活像と祭りに育まれたコミュニティを後世に引き継ぐため、伝統ある複合住宅地の形成を目指します。

豊かな自然を生かした自立的に発展する島づくり

- 島しょ部においては、住民の誰もが生きがいを感じながら生活できるよう、交通基盤を整備するとともに、住民の創意と地域特性を生かした水産業の振興、豊かな自然、個性ある文化等の地域資源を最大限に生かした観光産業等の振興を目指します。

拠点

地域交流拠点	副次拠点	山陽飾磨駅周辺 ▶ 広域交流及び地域間交流における交通結節機能の向上や中心拠点を補完する都市機能の維持・充実を図るとともに、港町の歴史的景観を生かした魅力的な都市空間の創出を図ります。
	生活拠点	JR 英賀保駅周辺、山陽白浜の宮駅・大塩駅周辺 ▶ 地域の玄関口として、交通結節機能の向上を図るとともに、日常生活を支える都市機能の維持・向上を図ります。
地域内拠点		家島事務所周辺 ▶ 公共交通によるアクセス性を確保するとともに、商業、医療・福祉等の日常生活に必要なサービスの維持・確保を図ります。
親港拠点		姫路港飾磨地区 ▶ 姫路港旅客ターミナルエリアの再編整備により、姫路の海の玄関口として、地域のブランド価値を向上させる港湾空間の形成を促進するとともに、港湾の競争力強化と脱炭素社会の実現に貢献するため、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や水素・アンモニア等の受け入れ環境の整備等を図るカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を促進します。

(2) 地域づくりの方針〈陸地部〉



土地利用

商業系

山陽飾磨駅周辺

- 拠点商業業務地として位置づけます。

J R英賀保駅、山陽妻鹿駅・西飾磨駅・白浜の宮駅・的形駅・大塩駅周辺

- 商業業務地として位置づけます。

飾磨幹線（駅南大路）

- 沿道型の商業業務地として位置づけます。

工業系

臨海部の姫路港内

- 日本有数の製造業や発電所等が集積していることから温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルポート（CNP）の形成を促進するとともに、都市活力の源となる工業地の形成を図ります。
- 周辺の住環境への影響や道路交通への影響等について、生活環境影響調査を実施し、支障がないと認められる廃棄物処理施設等の土地利用を図ります。



飾磨港周辺

妻鹿漁港

- 水産物の生産・流通・加工・販売施設等の集積を図るとともに、生産・加工された水産物を生かした販わいを創出します。

住宅系

海岸線（国道 250 号）沿道や宮線沿道等の複合住宅地

- 住・商・工をともに許容した土地利用を図ります。

白浜地区など山陽電鉄と海岸線（国道 250 号）に挟まれた複合住宅地

- 地場産業を営む工場と住宅が共存した職住近接型の住宅地の形成を図ります。

一般住宅地及び専用住宅地

- 適切な道路等の整備及び土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地又は低層住宅地の形成を図ります。

市街化調整区域の既存集落

- 特別指定区域制度の活用により、地域の実情に応じた住環境の維持、保全を図ります。

保全系

小赤壁等の自然海岸や仁寿山等の市街地に近接する丘陵

- 良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。

その他

- 塩田跡地ゾーンは、播磨臨海地域道路の整備や鉄道施設移転の進捗状況等を踏まえ、地域特性にも配慮した土地利用を誘導します。



小赤壁

交通



公共交通

山陽飾磨駅周辺地区

- 踏切での慢性的な交通渋滞が発生し、地域住民の生活や交流活動、経済活動等に支障をきたしているため、鉄道と道路との立体交差等の対策を推進し、安全で良好な環境を創出します。
- 山陽飾磨駅と姫路港を公共交通で接続し、アクセス性の向上を目指します。

山陽飾磨駅・八家駅・的形駅・西飾磨駅

- 駅舎の近代化、アクセス道路の改善、駅前広場の整備等により、利便性や周辺の利用環境の向上を図ります。

バス路線

- 山陽白浜の宮駅・八家駅・的形駅を拠点としたバス路線網の再編を図ることで地域住民の利便性の向上を図ります。

道路

幹線道路

- 播磨地域におけるものづくり力の強化や防災・減災機能の強化、広域交流の円滑化を図るため、播磨臨海地域道路の早期事業化に向け取り組みます。
- 環状放射道路を構成する海岸線（国道250号）、御着線及び大日線、中央南北幹線等を骨格とした幹線道路網の形成を図ります。

自転車利用環境

- 環境負荷の低減等につながる自転車の安全・安心・快適な利用を促進するため、飾磨幹線等における自転車利用環境の向上を図ります。



水と緑

公園・緑地

- 市民のスポーツに関するニーズが高まる中、必要に応じてスポーツ需要を満たす広場の整備を図ります。



市街地整備

土地区画整理事業

- 英賀保駅周辺土地区画整理事業を推進し、都市施設が整った低層住宅地の形成を図ります。
- 土地区画整理事業の進展にあわせて、身近に利用できる都市公園の整備および下水道未整備区域の解消を進めます。

密集市街地

- 飾磨区御幸・大浜周辺において、地域住民との連携により建築物の建替え、耐震・不燃化を促進するなど、安全な市街地環境への改善を図ります。



生活環境

下水道

- 中部終末処理場等の老朽化した下水道施設の計画的な改築更新を進めます。
- 重点対策地区において、局所的な浸水解消に寄与する雨水対策施設の整備を進めます。

防災

防災機能の強化

- 地域防災拠点として飾磨支所と白浜支所を、オープンスペースとして高浜総合公園、飾磨中部中学校、津田公園、灘中学校、大的中学校を配置するとともに、小学校区及び義務教育学校区を基本とした生活圏においてコミュニティ防災拠点を配置し、これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。

避難対象地区

- 南海トラフ地震の発生に伴う津波に備えるため、地域住民等の参画により津波避難計画を策定し、避難場所や避難路の確保を図ります。

河川

- 市川、船場川、水尾川、夢前川、野田川、八家川については、計画的な改修等や適切な維持管理を促進します。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域等

- 指定の状況を踏まえた土地利用を誘導します。



景観

山陽飾磨駅以南に残る歴史的町並み

- 歴史的町並み景観形成ゾーンとして位置付け、港町等の歴史的景観の保全・継承を図ります。

景観形成上重要な建造物等

- 保護制度等を活用することで保存・修復し、まちづくりの中で活用を図ります。



姫路みなと祭りの花火



飾磨津物揚場跡地



大塩ののじぎく



灘のけんか祭り



凡		例	
土地	利用	都市	施設
■	拠点商業業務地	—	自動車専用道路
■	商業業務地	—	幹線道路(環状)
■	工業地	■	専用住宅地
■	複合住宅地	■	農地・集落地
■	一般住宅地	■	山地・丘陵
		■	高次都市機能ゾーン
		—	補助幹線道路
		—	幹線道路(放射)
		—	幹線道路(その他)
		—	自転車レーン等整備路線
		—	JR線
		—	山陽電鉄
		●	主要公園・緑地・墓園
		—	一級・二級河川
		—	水辺

注：播磨臨海地域道路のルートについては、令和5年（2023年）10月に公表した都市計画素案であり、確定したものではありません。

■南東エリアの将来像<陸地部>

(3) 地域づくりの方針〈島しょ部〉



土地利用

- 森林等に係る各種制度を活用により豊かな自然環境の適正な保全・管理を図るとともに、国立公園に指定されている自然景観を生かした観光・レクリエーション地としての活用を図ります。



交通

- 姫路港と家島を結ぶ海上交通は、現状のサービス水準を維持しつつ、陸上交通との連携強化を図ります。
- 地域住民、交通事業者等の多様な地域関係者と連携しながら、生活交通の維持・確保を図ります。



家島コミュニティバス



防災

- 地域防災拠点として家島事務所を、オープンスペースとして家島中学校、家島高等学校、坊勢スポーツセンターを配置するとともに、小学校区及び義務教育学校区を基本とした生活圏においてコミュニティ防災拠点を配置し、これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。

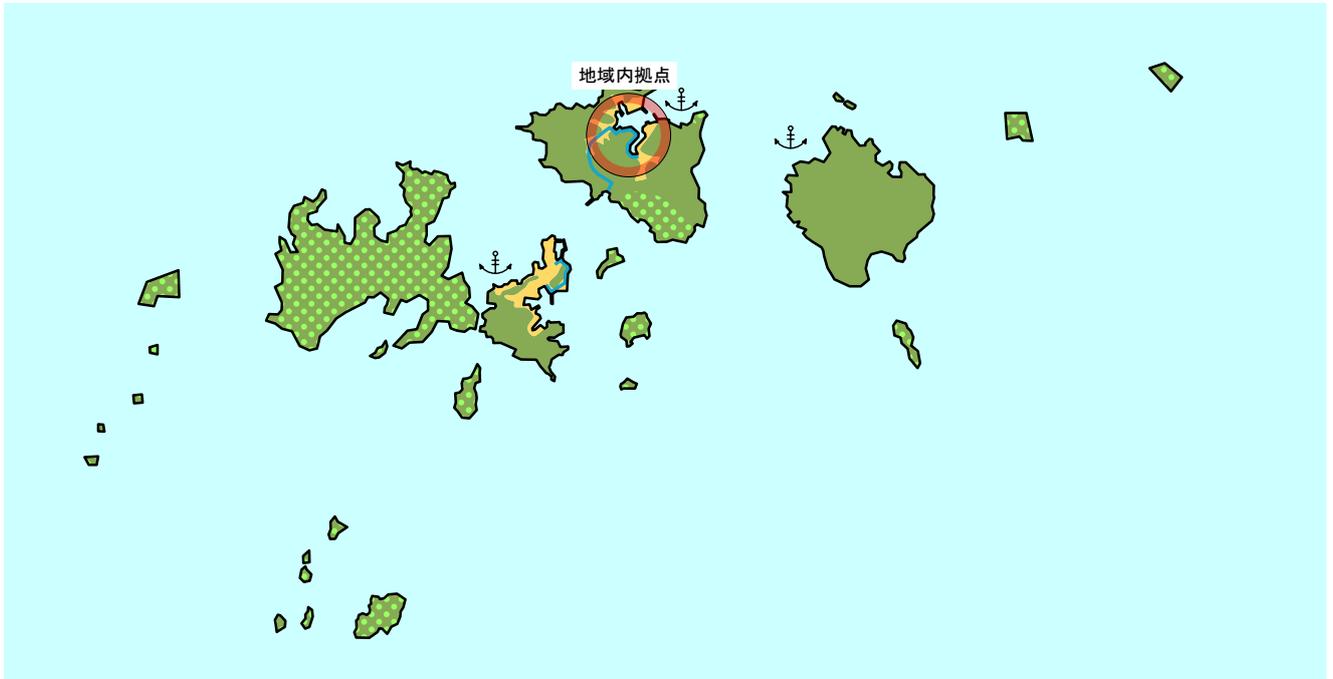


景観

- 島の暮らしや伝統を尊重しつつ、自然環境、集落、港等が一体となった島らしい景観の保全、育成を図ります。
- 景観形成上重要な建造物等は、保護制度等を活用することで保存・修復し、まちづくりの中で活用を図ります。



家島のまち並み



凡		例	
土地 利 用		都 市 施 設 等	
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	J R 線
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	山陽電鉄
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	主要公園・緑地・墓園
			瀬戸内海国立公園
			一級・二級河川
			水辺

■南東エリアの将来像<島しょ部>

第5章 地域の将来像
〈地域別構想〉

5 北東エリア

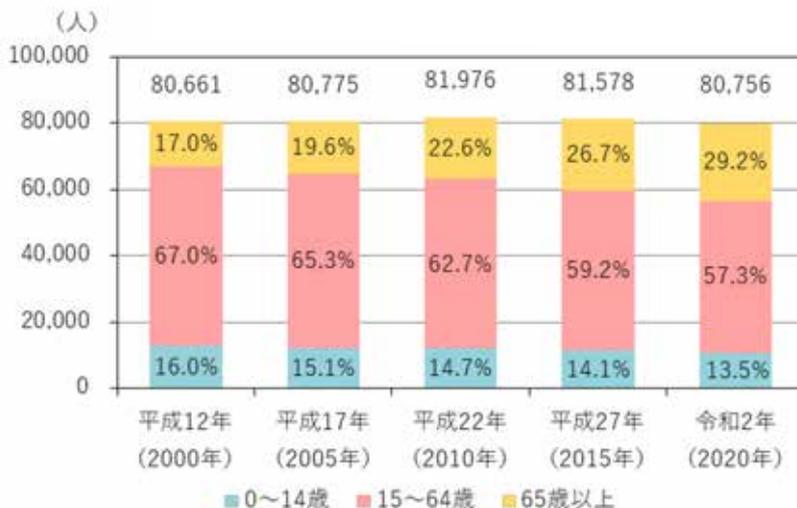
(1) 地域づくりの目標

地域の概況

- 北東エリアは、国道線（国道2号）や大日線（国道312号）沿いに城央エリアから連なる市街地が形成され、その周辺は丘陵・田園地域となっています。
- 市北東部の玄関口として、山陽自動車道や播但連絡道路が通り、多くのインターチェンジ・ランプが設置されています。
- 豊富ランプ周辺では豊富団地（サバービア豊富）が整備されており、花田インターチェンジ周辺では、交通の利便性を生かした流通業務施設の立地がみられます。
- 土師地区では、営農条件と調和のとれた良好な居住環境の形成を目的とした土地区画整理事業が完了しており、計画的な都市施設の整備が行われています。



■ 人口及び人口構成の推移



資料：総務省「国勢調査」



地域の特徴

- ▶ 市川左岸から国道線（国道2号）沿いの地域は、奈良時代には播磨国分寺が置かれ、室町時代の御着城跡や古墳時代の壇場山古墳群等の史跡が多く、播磨の政治、文化の中心地として古くから栄えた地域です。
- ▶ 別所地区では、貨物基地の移転を契機とした土地区画整理事業が完了し、計画的な都市施設の整備が行われました。
- ▶ 山陽自動車道以北の地域は、銀の馬車道が通っていた大日線（国道312号）沿い市街地が形成され、市川東側の平野部には、田園風景が広がる集落が形成されています。この一帯は、播磨国風土記に蔭山の里、多駝里と記され、古くから人々の生活が営まれてきた本地域では、遺跡等の文化財が数多く点在しています。

地域づくりの目標

利便性の高い交通拠点づくり

- J R御着駅・ひめじ別所駅・香呂駅・溝口駅を中心として、公共交通機関の連携強化や地域の実情に応じた土地利用を誘導し、日常生活の利便性を高める交通拠点の形成を目指します。

地域活性化を牽引する拠点づくり

- 自動車専用道路のインターチェンジ等を生かした土地利用の誘導を図り、豊かな自然に恵まれたゆとりある環境の中で、働き、住み、憩うことのできる地域づくりを目指します。

緑と調和したゆとりと潤いのある住宅市街地づくり

- 市街地を取り囲む丘陵周辺に開発された住宅地を中心に、道路や公園等の都市施設が整い、周囲の緑と調和したゆとりと潤いのある住宅市街地の形成を目指します。

水と緑と歴史のネットワークづくり

- 市街地の外郭を縁取る山並みや農地等の自然空間と、播磨の中心地として栄えた数々の歴史文化遺産を活用し、地域活性化の仕掛けとなる水と緑と歴史のネットワークの形成を目指します。

拠点

地域交流拠点	生活拠点	JR 御着駅・ひめじ別所駅・香呂駅周辺 ▶ 地域の玄関口として、交通結節機能の向上を図るとともに、日常生活を支える都市機能の維持・向上を図ります。
	地域内拠点	JR 溝口駅周辺 ▶ 公共交通によるアクセス性を確保するとともに、商業、医療・福祉等の日常生活に必要なサービスの維持・確保を図ります。
	流通拠点	山陽姫路東インターチェンジ周辺、別所貨物基地周辺 ▶ 周辺の自然環境や農地に配慮しつつ、広域交通の利便性を生かした流通業務機能の充実を図ります。

(2) 地域づくりの方針〈北東エリア（南部）〉



土地利用

商業系

J R御着駅・ひめじ別所駅

- 商業業務地として位置づけます。

国道線（国道2号）沿道等

- 沿道型の商業業務地として位置づけます。

工業系

姫路工業団地及び周辺の内陸工業地

- 引き続き工業地としての土地利用を図ります。

山陽姫路東・花田インターチェンジ周辺や別所ランプ周辺

- 地域未来投資促進法に基づく基本計画に位置付けられた重点促進区域への流通業務施設や工業施設等の立地を適正に誘導するため、土地区画整理事業や民間活力を生かした開発事業手法の導入とあわせて、区域区分や地域地区等に関する都市計画の見直しを適宜検討します。

住宅系

別所地区の複合住宅地

- 住機能と流通業務機能とが調和した緑豊かな住宅地の形成を図ります。

地場産業が集積する複合住宅地

- 工場跡地等における住宅の立地が散見されますが、引き続き工場と住宅との混在を許容する住宅地の形成を図ります。

一般住宅地及び専用住宅地

- 適切な道路等の整備及び土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地又は低層住宅地の形成を図ります。

市街化調整区域の既存集落

- 特別指定区域制度の活用により、地域の実情に応じた住環境の維持、保全を図ります。

保全系

仁寿山等の市街地を取り囲む丘陵

- 良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。

天川の流域に広がる農地・集落地

- 農業を振興する地域として、優良な農地を保全するとともに、周辺環境との調和に配慮した土地利用を図ります。



交通

公共交通

J R御着駅

- 駅舎の近代化、アクセス道路の改善、駅前広場の整備等により、利便性や周辺の利用環境の向上を図ります。

公共交通空白地域・不便地域

- 地域住民、交通事業者等の多様な地域関係者と連携しながら、生活交通の維持・確保を図ります。

道路

幹線道路

- 環状放射道路を構成する御着線、国道線（国道2号）、城北線（国道372号）等を骨格とした幹線道路網の形成を図ります。

道の駅

- 花田インターチェンジ周辺において、利便性・魅力向上機能や広域防災機能、交流機能をあわせ持った道の駅の整備を推進します。



水と緑

公園・緑地

- 地域住民の身近な憩いの場、災害時における避難場所等を確保するため、まとまった規模を持つ公園の計画的な整備を図ります。



生活環境

下水道

- 高木四郷幹線等の老朽化した下水道施設の計画的な改築更新を進めます。
- 経営の効率化及び投資の合理化を図るため前処理場の統廃合を進めます。
- 重点対策地区において、局所的な浸水解消に寄与する雨水対策施設の整備を進めます。



防災

防災機能の強化

- 地域防災拠点として東出張所と飾東出張所を、オープンスペースとして球技スポーツセンターを配置するとともに、小学校区及び義務教育学校区を基本とした生活圏においてコミュニティ防災拠点を配置し、これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- 森林、緑地の持つ保水機能等の保全と土砂災害等の防止を図ります。

河川

- 市川については、計画的な改修等や適切な維持管理を促進します。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域等

- 指定の状況を踏まえた土地利用を誘導します。



景観

西国街道沿いの歴史的町並み

- 歴史的町並み景観形成ゾーンとして位置付け、宿場町の歴史的景観の保全・継承を図ります。

景観形成上重要な建造物等

- 保護制度等を活用することで保存・修復し、まちづくりの中で活用を図ります。

播磨国分寺跡

- 播磨の中心地であった歴史を偲ばせる空間として保全・活用を図ります。



見野古墳群



埋蔵文化財センター



播磨国分寺跡



球技スポーツセンター



市街化調整区域

地域の特性に応じたまちづくりを実現するため、地区計画制度や特別指定区域等の活用により秩序ある土地利用を誘導します。



凡		例	
土地 利 用		都 市 施 設	
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路
商業業務地	専用住宅地	幹線道路(環状)	J R線
工業地	農地・集落地	幹線道路(放射)	山陽電鉄
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路(その他)	水辺
		主要公園・緑地・墓園	

■北東エリアの将来像<南部>

第5章 地域の将来像
〈地域別構想〉

(3) 地域づくりの方針〈北東エリア（北部）〉



土地利用

商業系

J R香呂駅周辺

- 商業業務地として位置づけます。

大日線（国道 312 号）沿道

- 沿道型の商業業務地として位置づけます。

工業系

豊富団地（サバービア豊富）や豊富町豊富、香寺町南部の既存の内陸工業地

- 工業地としての土地利用を図ります。

豊富・砥堀・船津ランプ周辺

- 地域未来投資促進法を活用し、流通業務施設や工業施設等の立地を適正に誘導するため、土地区画整理事業や民間活力を生かした開発事業手法の導入とあわせて、区域区分や地域地区等に関する都市計画の見直しを適宜検討します。

住宅系

市川沿いの複合住宅地

- 地場産業や軽工業等と調和のとれた住宅地の形成を図ります。

一般住宅地及び専用住宅地

- 適切な道路等の整備及び土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地又は低層住宅地の形成を図ります。

市街化調整区域に点在する住宅団地

- 地区計画制度の活用により、現在の住環境の維持、保全を図ります。また、市街化調整区域の既存集落では、特別指定区域制度の活用により、地域の実情に応じた住環境の維持、保全を図ります。

土師地区や岩部地区

- 集落地区計画に基づく新規住宅等の適正な立地を誘導します。

保全系

増位山、広嶺山等の市街地を取り囲む丘陵や地域北側に広がる丘陵

- 良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。

増位山や広嶺山

- 豊かな自然や増位山随願寺、広峯神社等の歴史文化遺産に触れることができる拠点として、優れた歴史的風土を損なわない範囲で利用環境の向上を図ります。

市川の流域に広がる農地・集落地

- 農業を振興する地域として、優良な農地を保全するとともに、周辺環境との調和に配慮した土地利用を図ります。



交通

公共交通

J R 仁豊野駅・砥堀駅

- 駅舎の近代化、アクセス道路の改善、駅前広場の整備等により、利便性や周辺の利用環境の向上を図ります。

J R 香呂駅・溝口駅

- 都心部に向かう放射状道路の混雑を緩和し、地域内交通の円滑化を図るため、パークアンドライドを推進します。

公共交通空白地域・不便地域

- 地域住民、交通事業者等の多様な地域関係者と連携するとともに、隣接する福崎町とも連携しながら、生活交通の維持・確保を図ります。



連携コミュニティバス（ふくひめ号）

道路

幹線道路

- 環状放射道路を構成する大日線（国道 312 号）、川手線等を骨格とした幹線道路網の形成を図ります。



水と緑

姫路セントラルパーク

- 周囲の自然環境を保全しながら、地域住民のみならず広域圏の人々に親しまれる施設として活用します。

公園・緑地

- 既設公園の統廃合や集約化を含めた再編と活性化に取り組みます。



姫路セントラルパーク



生活環境

下水道

- 経営の効率化及び投資の合理化を図るため船津南部地区等の農業集落排水施設の公共下水道への統廃合を進めます。



防災

防災機能の強化

- 地域防災拠点として北出張所、船山出張所、香寺事務所を、オープンスペースとして豊富球場、農業振興センター、香寺総合公園スポーツセンター、香寺中学校、香寺温水プールを配置するとともに、小学校区及び義務教育学校区を基本とした生活圏においてコミュニティ防災拠点を配置し、これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- 森林、緑地の持つ保水機能等の保全と土砂災害等の防止を図ります。

河川

- 市川については、計画的な改修等や適切な維持管理を促進します。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域等

- 指定の状況を踏まえた土地利用を誘導します。



景観

景観形成上重要な建造物等

- 保護制度等を活用することで保存・修復し、まちづくりの中で活用を図ります。

増位山や広嶺山、神谷ダム周辺

- 豊かな水と緑が織りなす自然景観を保全するとともに、市街地を望む眺望点や身近に自然とふれあえる場として活用します。



香寺のコスモス



甲山浄水場 完成イメージ図



農地・集落地が多いけど、今後どうなるの？

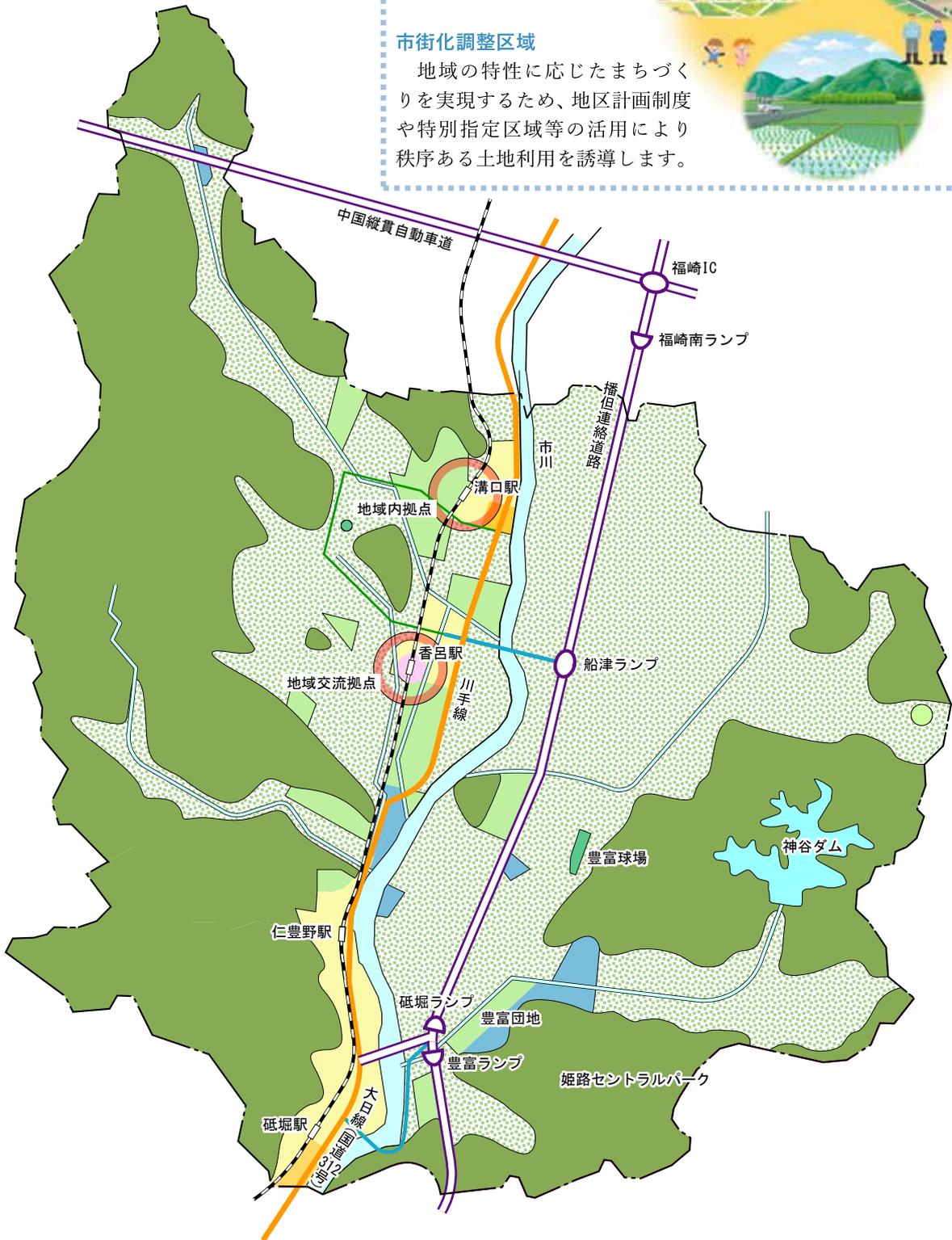
都市計画マスタープランに記載している農地・集落地（主に、市街化調整区域や都市計画区域外）は、市域の土地利用を自然環境との調和や地域の特性に留意した上で、保全すべき土地のうち農業の振興等を図る区域としているよ。

この計画には記載していないけど、「姫路市農林水産ビジョン」では多様な恵みを活かした持続可能な農林水産業の実現に向けて取組を進めていることや、地域ごとに農業経営基盤強化促進法に基づく「地域計画」を策定し、地域における農業の将来の在り方等を示すことで、大切な農地を次世代に引き継ぐための取組など、住民・行政・事業者が連携して多様な取組を進めているよ。



市街化調整区域

地域の特性に応じたまちづくりを実現するため、地区計画制度や特別指定区域等の活用により秩序ある土地利用を誘導します。



凡		例	
土地 利 用		都 市 施 設	
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	J R 線
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	山陽電鉄
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	主要公園・緑地・墓園
			一級・二級河川
			水辺

■北東エリアの将来像<北部>

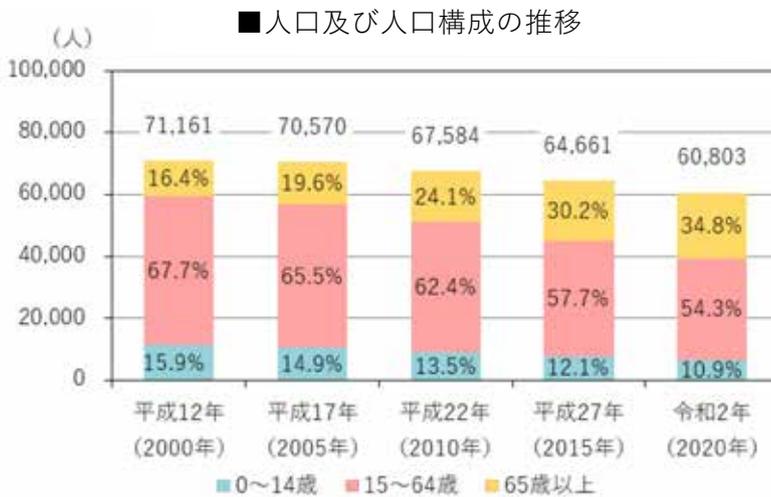
6

北西エリア

(1) 地域づくりの目標

地域の概況

- 北西エリアは、中国山地の山々や西播丘陵、夢前川等に囲まれた森林丘陵・田園地域となっています。
- 地域内は南北に連なる丘陵でいくつかに分かれ、夢前川、菅生川、大津茂川、林田川のそれぞれの流域には、田園風景の広がる市街地、集落が形成されています。
- 広域交通を受け持つ中国縦貫自動車道や山陽自動車道、国道29号南線（姫路西バイパス）が通り、姫路西インターチェンジや夢前スマートインターチェンジ等が設置されています。



資料：総務省「国勢調査」



地域の特徴

- ▶ 因幡街道が通る交通の要衝で林田藩の陣屋町として栄えた林田地区や、西国街道（山陽道）や因幡街道の要衝であった青山・飾西地区では、陣屋町や宿場町としての歴史的な町並みが残っています。
- ▶ 地域を南北に連絡する国道29号や、地域を東西に連絡するJR姫新線が通り、JR余部駅・太市駅が設置されています。
- ▶ 北部農山村地域は、多様な農林産物の宝庫であり、江戸時代には木綿の生産地として全国的に知られていました。現在も有機栽培された米、そば、いちご、ハーブ、ゆず、小豆、卵やスギ材など個性のある農林産物が多く作られています。
- ▶ 名峰雪彦山や名勝鹿ヶ壺を含む雪彦峰山県立自然公園、播磨富士と呼ばれる明神山、古くからひらけた塩田温泉、書写山等からなる西播丘陵県立自然公園、陣屋町や宿場町の歴史的な町並み、書写山円教寺、置塩城跡、古井家住宅、塩野六角古墳等の地域に点在する文化財など、多彩な自然環境や歴史文化遺産が地域の魅力となっています。

地域づくりの目標

利便性の高い交通拠点づくり

- JR余部駅・太市駅、夢前・安富地域事務所を中心として、公共交通機関の連携強化や地域の実情に応じた土地利用を誘導し、日常生活の利便性を高める交通拠点の形成を目指します。

地域活性化を牽引する拠点づくり

- 自動車専用道路のインターチェンジ等を生かした土地利用の誘導を図り、豊かな自然に恵まれたゆとりある環境の中で、働き、住み、憩うことのできる地域づくりを目指します。

緑と調和したゆとりと潤いのある住宅市街地づくり

- 計画的に開発された住宅団地を中心に、道路や公園等の都市施設が整い、周囲の緑と調和したゆとりと潤いのある住宅市街地の形成を目指します。

自然・田園・歴史を生かしたレクリエーション空間づくり

- 雪彦峰山・西播丘陵県立自然公園等の豊かな自然環境、夢前川・菅生川・大津茂川・林田川流域に広がる田園環境、地域に点在する歴史文化遺産を保全・活用し、多様なレクリエーション空間の形成を目指します。

拠点

地域交流拠点	生活拠点	JR余部駅周辺 ▶ 地域の玄関口として、交通結節機能の向上を図るとともに、日常生活を支える都市機能の維持・向上を図ります。
	地域内拠点	林田出張所周辺、夢前・安富事務所周辺 ▶ 公共交通によるアクセス性を確保するとともに、商業、医療・福祉等の日常生活に必要なサービスの維持・確保を図ります。
	流通拠点	山陽姫路西インターチェンジ周辺 ▶ 周辺の自然環境や農地に配慮しつつ、広域交通の利便性を生かした流通業務機能の充実を図ります。

(2) 地域づくりの方針〈北西エリア（南部）〉



土地利用

商業系

J R余部駅周辺

- 夢前川とJ R姫新線に挟まれている地形的要因から、幹線道路沿道を含めた範囲を、商業業務地として位置づけます。

工業系

山陽姫路西インターチェンジ周辺、太市・相野出屋敷・相野・石倉・下伊勢ランプ周辺

- 地域未来投資促進法を活用し、流通業務施設や工業施設等の立地を適正に誘導するため、土地区画整理事業や民間活力を生かした開発事業手法の導入とあわせて、区域区分や地域地区等に関する都市計画の見直しを適宜検討します。

住宅系

一般住宅地及び専用住宅地

- 適切な道路等の整備及び土地利用の誘導を通じて、良好な住環境を備えた中低層住宅地又は低層住宅地の形成を図ります。

林田地区

- 田園環境との調和を図りつつ、生活利便機能や交流機能を備えた住宅地の形成を図ります。

青山地区等の山麓部に開発された低層住宅地

- ゆとりある快適な住環境の維持・保全を図ります。

市街化調整区域に点在する住宅団地

- 地区計画制度の活用により、現在の住環境の維持・保全を図ります。また、市街化調整区域の既存集落については、特別指定区域制度の活用により、地域の実情に応じた住環境の維持・保全を図ります。

J R太市駅周辺地区

- 無秩序な土地利用を整序・抑制しながら、駅周辺の特長や実情に応じた適正な土地利用を誘導します。

保全系

書写山等の市街地を取り囲む丘陵

- 良好な都市環境や都市景観を形成する重要な緑として保全を図ります。



ミオロッソ書写

書写山

- 豊かな自然や書写山円教寺等の歴史文化遺産に触れることができる拠点として、優れた歴史的風土を損なわない範囲で利用環境の向上を図ります。

菅生川、大津茂川、林田川の流域に広がる農地・集落地

- 農業を振興する地域として、優良な農地を保全するとともに、周辺環境との調和に配慮した土地利用を図ります。



交通

公共交通

JR余部駅・太市駅

- JR余部駅については、駅舎の近代化、アクセス道路の改善、駅前広場の整備等により利便性や周辺の利用環境の向上を図ります。
- JR余部駅・太市駅については、都心部に向かう放射状道路の混雑を緩和し、地域内交通の円滑化を図るため、パークアンドライドを推進します。

バス路線

- 路線バス停留所までの距離が遠い住宅地が散在する一方で、郊外部と姫路駅を結ぶ便数が潤沢であることから、新たな運行ルートを設定することで路線を平準化し、利用者増加を目指した再編を行います。

公共交通空白地域・不便地域

- 一定規模の面積・人口が集積している公共交通空白地域・不便地域においては、優先的に地域住民や交通事業者と連携しながら、地域公共交通の導入を進めます。

道路

幹線道路

- 放射道路を構成する国道線（国道2号）、田井線及び国道29号北線（国道29号）等を骨格とした幹線道路網の形成を図ります。



水と緑

公園・緑地

- 自然観察の森、宿泊型児童館（星の子館）、姫路科学館（アトム館）、県立こども館等と一体となった、子ども達の豊かな感性と創造力を育むレクリエーションの拠点として桜山公園の適正な維持管理と利用環境の向上を図ります。



桜山公園

自然・田園環境

- 幅広い世代が楽しめる環境学習施設として、伊勢自然の里・環境学習センターの活用を図ります。

**生活環境****下水道**

- 経営の効率化及び投資の合理化を図るため打越・毛野地区の農業集落排水施設の公共下水道への統廃合を進めます。

**防災****防災機能の強化**

- 地域防災拠点として林田出張所と西出張所を、オープンスペースとして林田中学校と書写中学校を配置するとともに、小学校区及び義務教育学校区を基本とした生活圏においてコミュニティ防災拠点を配置します。これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- 森林、緑地の持つ保水機能等の保全と土砂災害等の防止を図ります。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域等

- 指定の状況を踏まえた土地利用を誘導します。

河川

- 夢前川、林田川については、周辺環境に配慮し、適切な維持管理を促進します。

**景観****林田地区や青山地区等の古道沿いの歴史的町並み**

- 歴史的町並み景観形成ゾーンとして位置付け、陣屋町や宿場町の歴史的景観の保全・継承を図ります。

景観形成上重要な建造物等

- 保護制度等を活用することで保存・修復し、まちづくりの中で活用を図ります。



星の子館



鴨池弁天島（州浜神社）



市街化調整区域

地域の特性に応じたまちづくりを実現するため、地区計画制度や特別指定区域等の活用により秩序ある土地利用を誘導します。



第5編 地域の将来像
〈地域別構想〉

凡		例		
土地 利 用		都 市 施 設		
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路	一級・二級河川
商業業務地	専用住宅地	幹線道路(環状)	J R 線	水辺
工業地	農地・集落地	幹線道路(放射)	山陽電鉄	
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路(その他)	主要公園・緑地・墓園	

■北西エリアの将来像<南部>

(3) 地域づくりの方針〈北西エリア（北部）〉



土地利用

- 兵庫県「緑豊かな地域環境の形成に関する条例」による環境形成区域の区分に基づき、「まちの区域」等においては、人々の居住や都市的な活動の場として、良好な市街地環境の形成を図ります。
- 安志北の台地区では、地区整備計画により、現在の住環境の維持・保全を図ります。
- 山地・丘陵においては、森林等に係る各種制度の活用により豊かな自然環境の適正な保全・管理を図るとともに、自然保護に十分配慮しつつ、自然環境と調和したレクリエーション地として活用を図ります。
- 夢前川、菅生川、林田川の流域に広がる農地・集落地は、農業を振興する地域として、優良な農地を保全するとともに、周辺環境との調和に配慮した土地利用を図ります。
- 夢前スマートインターチェンジ周辺においては、地域未来投資促進法などを活用し、流通業務施設や工業施設等の立地を支援します。



交通

- 夢前町と安富町との連携を強化し、JR姫新線が活用できる環境を整えるため、これらの地域間を結ぶ公共交通の導入を検討します。
- 公共交通空白地域・不便地域においては、地域住民、交通事業者等の多様な地域関係者と連携しながら、生活交通の維持・確保を図ります。
- 既存バス路線の維持が困難な区間については、新たなサービスによる移動手段を確保することで地域住民の利便性向上を図ります。



コミュニティバス（雪彦）



生活環境

- 経営の効率化及び投資の合理化を図るため安志・長野地区のコミュニティ・プラント等の公共下水道への統廃合を進めます。



防災

- 地域防災拠点として夢前事務所と安富事務所を、オープンスペースとして鹿谷中学校、夢前高等学校、安富中学校、安富スポーツセンター、コミュニティ防災公園を配置するとともに、小学校区及び義務教育学校区を基本とした生活圏においてコミュニティ防災拠点を配置します。これらの施設については、耐震性の向上や設備等の自立性を確保するなど防災機能の強化を図ります。
- 森林、緑地の持つ保水機能等の保全と土砂災害等の防止を図ります。

- 夢前川については、計画的な改修等や適切な維持管理を促進します。



景観

- 因幡街道沿いの歴史的町並みを、歴史的町並み景観形成ゾーンとして位置付け、歴史的景観の保全・継承を図ります。
- 景観形成上重要な建造物等を、保護制度等を活用することで保存・修復し、まちづくりの中で活用を図ります。
- 雪彦山や鹿ヶ壺、明神山等の水と緑が織りなす自然景観や、置塩城跡等の優れた歴史的風土の保全・活用を図ります。



夢前川 新庄の桜



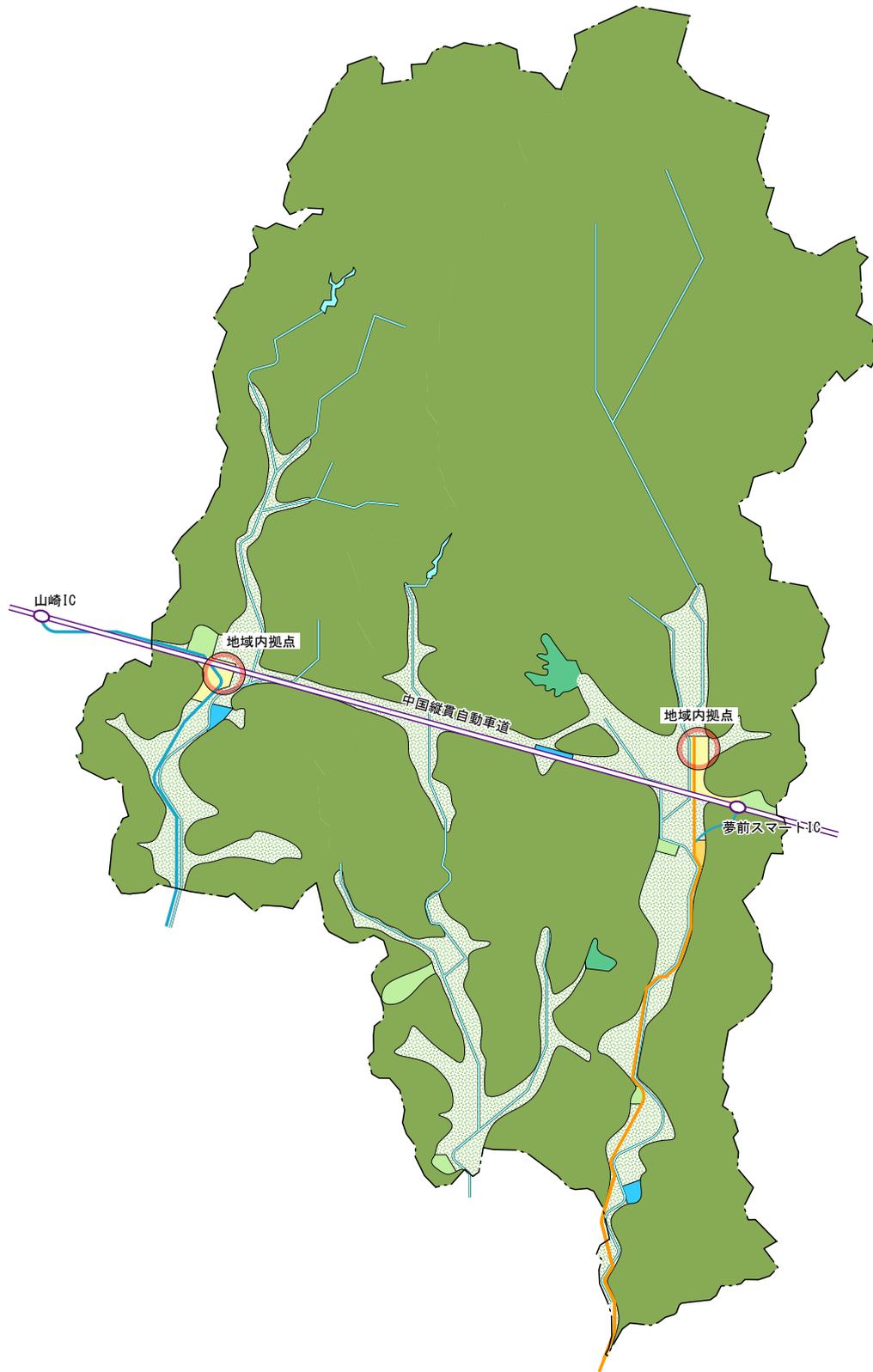
鹿ヶ壺



都市計画マスタープランに書かれていることしか行われないの？

都市計画マスタープランは、土地利用や市街地形成など主に都市計画に関する将来像を記載しているんだ。本計画に記載していること以外にも、郊外部に移住したい若者世帯を応援する制度など多様な取組を進めているよ。





凡		例		
土地 利用		都 市 施 設		
拠点商業業務地	一般住宅地	自動車専用道路	補助幹線道路	一級・二級河川
商業業務地	専用住宅地	幹線道路（環状）	J R 線	水辺
工業地	農地・集落地	幹線道路（放射）	山陽電鉄	
複合住宅地	山地・丘陵	幹線道路（その他）	主要公園・緑地・墓園	

■北西エリアの将来像<北部>

